

すぐに
できる

多文化共生への第1歩!

やさしい日本語

文字は読めなくても、簡単な日本語なら話せる方もいます。「やさしい日本語」で話してみましょう。

POINT 1 文章は短く簡単に。難しい言葉は簡単な言葉に言い換えましょう。

高台へ避難してください → 高いところへ逃げてください

土足厳禁 → くつをぬいでください

POINT 2 カタカナの外来語、擬態語・擬音語、敬語、方言は使わないようにしましょう。

キャンセル → やめる

いらしてください → 来てください

こう言えば必ず伝わるといふ正解はありません。思いやりを持って、相手と向き合ってみましょう。

日本語教室のボランティア募集

日本語しか話せなくても大丈夫。日本語を教えながら、外国人と交流してみませんか。

ところ 大塚公民館、勤労福祉会館、塩津公民館

問い合わせ先 国際交流協会（協働まちづくり課）

外国人相談窓口を利用ください

在留手続（ビザ）や医療、税金など生活の中で困っていることを相談できます。英語・タガログ語の通訳および13言語対応のタブレット端末で対応します。周りに困っている方がいたら、ご案内ください。

ところ 協働まちづくり課

インタビューストを通じて、文化や習慣の違いを理解することの大切さや外国人市民の苦労や努力を知ることができました。大切なのは、お互いに1歩ずつ歩み寄ること。まずは、多文化共生について考えてみてください。そして、やさしい日本語で話しかけるなど、コミュニケーションをとってみてください。一人ひとりができることから少しずつ取り組み、全体の意識を変えることで、みんなが暮らしやすいまちをつくっていきましょう。

外国人に対するイメージを変えたい

市内在住フィリピン人 ヤンバオ・エレナ

日本で働くためにフィリピンから来ました。初めは1年だけのつもりでしたが、来日してもう17年にもなります。たぶん日本が合っていたからだと思います。あとは、蒲郡が大好きだからですね。今はみんなが集まれる場所作りをしたいという思いもあり、フィリピン雑貨のお店をしています。

日本に来て大変だったことは、日本語が分からないことです。税金や子育てについての情報をうまく得られず苦労しました。また、「外国人はルールを守らない」などの悪いイメージがあることが悲しかったです。

フィリピン人に対するイメージを変えたい、そして自分が暮らすまちをきれいにしたいと思い、海岸の清掃活動をしたことがあります。事前にフェイスブックで呼びかけ、ごみの分別方法を周知しました。おかげで当日は30人以上が集まり、ごみもきれいに分別してくれました。活動中、私たちの様子を見て、ジュースを差し入れてくれた日本人の方がいました。受け入れてもらえたように感じ、うれしかったです。

私たちは何もできないわけではありません。外国人だからと決めつけて、コミュニケーションをとる前から拒否されるのは辛いです。やさしい日本語で話してもらえれば、分かることもあります。広い目で優しく接してもらえるとうれしいです。

小さなステップの積み重ねで、蒲郡が誰に対してもフレンドリーなまちになるといいな。

